

# 1 取組の状況報告

## 1-1 ガイドライン(案)と検証委員会について

■ ガイドライン(案)策定の背景

# 新設コンクリート構造物に対する取組

計画的な施設の補修と更新に加え

新設する段階から適切な品質確保を実施

既存施設の  
計画的な補修及び更新

+

新設コンクリート  
構造物の耐久性向上

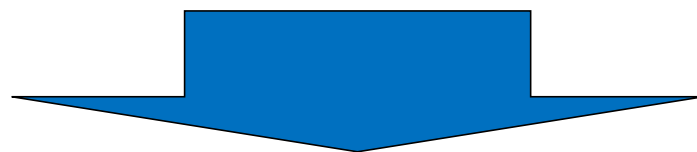
産学官連携

インフラの安全性向上と  
ライフサイクルコストの縮減

## ■ ガイドライン(案)策定の背景

# 新設コンクリート構造物に対する取組

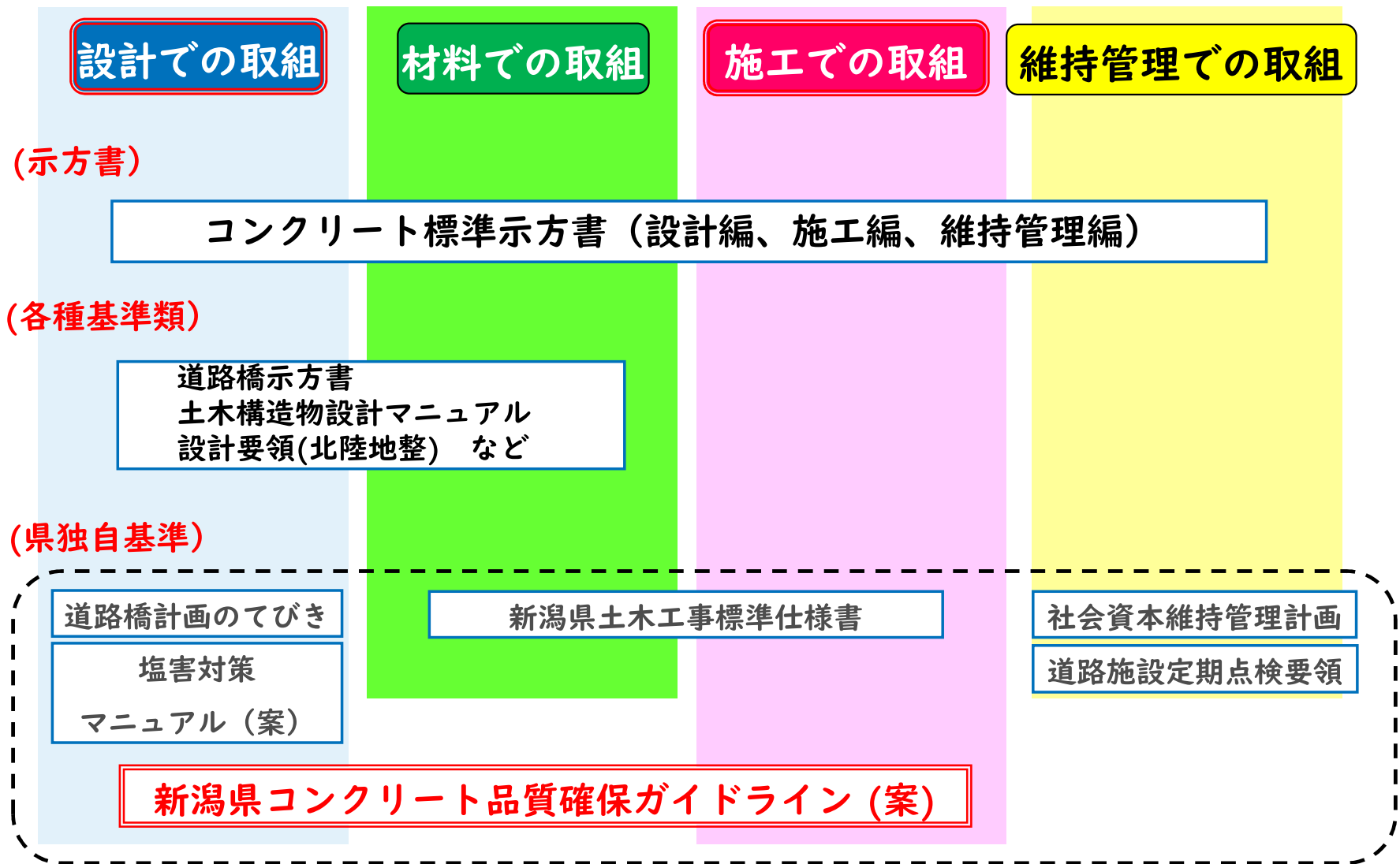
先進的に品質確保に取り組む**山口県**の  
「コンクリート構造物品質確保ガイド」



**新潟県コンクリート品質確保  
ガイドライン(案)**

令和3年3月策定 令和6年3月改正

# ■ ガイドライン(案)の位置づけ



# ■ 主な内容 (3つの取組)

## 取組 1 施工の基本事項の遵守

➢ コンクリート標準示方書の内容を遵守することで、施工におけるコンクリート構造物の品質確保につなげる。

## 取組 2 ひび割れ抑制対策

➢ 基本事項を遵守しても発生するひび割れを減少させる対策を検討・実施。

## 取組 3 環境条件・施工条件を考慮した取組

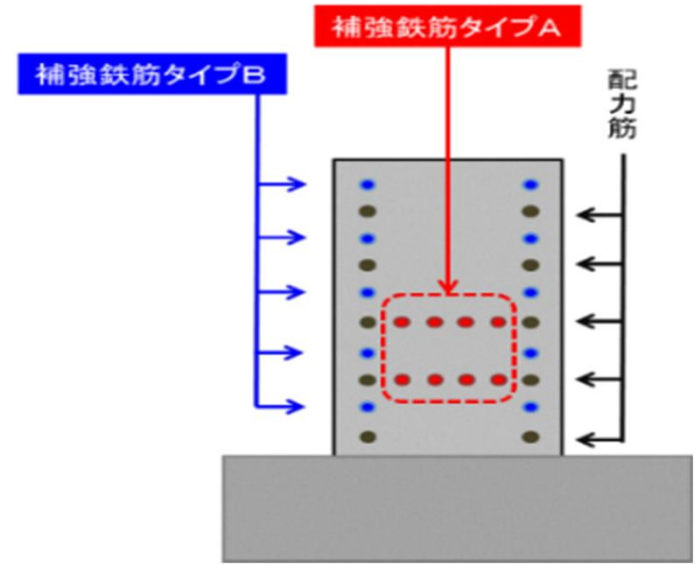
➢ 設計・施工段階において、コンクリート構造物の品質確保を図るための取組を行う。  
(鉄筋組立精度の確保、水による構造物の劣化防止、塩害・凍害策等)

【施工状況把握チェックシート(コンクリート打込み時)】

|         |                     |         |                          |         |     |
|---------|---------------------|---------|--------------------------|---------|-----|
| 事務所名    | 〇〇土木建設事務所           | 工事名     | 橋梁〇〇線 道路改良工事             | 工事      | 1   |
| 橋梁名称    | 〇〇橋 A橋脚             | 橋脚      | 右側橋                      | リフト     | 2   |
| 発注者     | 〇〇建設(株)             | 建設者     | 〇〇〇〇建設(株)                |         |     |
| 配合      | 25A-20B             | 確認日時    | 2012.10.11(水) 7:30~11:30 |         |     |
| 打込み開始時刻 | 予定: 8:00 実績: 8:30   | 打込み開始高さ | 22.0C                    | 天候      |     |
| 打込み終了時刻 | 予定: 12:00 実績: 12:20 | 打込み量(㎥) | 80                       | リフト高(㎏) | 3.0 |

| 施工段階 | チェック項目  | メモ | 記述 | 確認 |
|------|---|----|----|----|
| 準備   | 養生設置・打込み設備は押されていないか。                                      |    |    | ○  |
|      | 設備は養生されているか。  |    |    | ○  |
|      | 形状内部に、本層や前層等の異物は入っていないか。                                  |    |    | ○  |
|      | 仮設のコンクリートの表面のレンガ等は取り除き、あらしているか。                           |    |    | ○  |
| 打込み  | コンクリート打込み作業人員(1)に余裕を持たせているか。                              |    |    | ○  |
|      | 予備のパイプレータを準備しているか。  |    |    | ○  |
|      | 振動機の回転がなにより、事前にチェックしているか。                                 |    |    | ○  |
|      | ポンプや配管内部の詰まりを確認する際、先回りメンテナンスの処置を施しているか。                   |    |    | ○  |
| 鉄筋   | 鉄筋が十分な強度を確保しているか。   |    |    | ○  |
|      | コンクリートの表面が本層になるように行きわたっているか。                              |    |    | ○  |
|      | 一層の高さは、50cm以下としているか。                                      |    |    | ○  |
|      | 二層以上に分けて打ち込む場合は、上層のコンクリートの打込みは、下層のコンクリートが完全に固まるまで待たせているか。 |    |    | ○  |
| 締め   | ポンプ配管等の出口から打込み層までの高さは、1.5m以下としているか。                       |    |    | ○  |
|      | 表面にブローイングがある場合は、これを取り除いてからコンクリートを行きわたらせているか。              |    |    | ○  |
|      | パイプレータを下層のコンクリートに10cm程度挿入しているか。                           |    |    | ○  |
|      | パイプレータを前後に挿入し、挿入間隔は50cm以下としているか。                          |    |    | ○  |
| 養生   | パイプレータの振動時間は5~15秒としているか。                                  |    |    | ○  |
|      | 鉄筋の作業中に、パイプレータを鉄筋等に接触させていないか。                             |    |    | ○  |
|      | パイプレータでコンクリートを振動させていないか。                                  |    |    | ○  |
|      | パイプレータが固着しないように行きわたらせているか。                                |    |    | ○  |
| 品質   | 硬化を妨げることで影響するおそれがある場合は、シートなどで目目を養生しているか。                  |    |    | ○  |
|      | コンクリートの表面を保護しているか。  |    |    | ○  |
|      | 配管設備を適切に管理しているか。  |    |    | ○  |
|      | 型枠および支保工の撤去は、コンクリートが十分な強度に達した後であるか。                       |    |    | ○  |



## ■ 検証委員会の設立の趣旨

### ■ 検証委員会を設立した目的

- ・ 「新潟県コンクリート品質確保ガイドライン（案）」は山口県の「コンクリート構造物品質確保ガイド」を準用して作成。
- ・ 取組の内容、対策工（鉄筋比、目地間隔）や補修基準は、山口県が設定した基準値等を準用。

新潟県でも山口県の取組と同様の取組を行う。

試行工事を積み重ねることによって傾向を見つけ、新潟県の環境条件や骨材事情等の特性を考慮したガイドライン（案）に修正することが必要。

⇒ 試行工事の検証を通じて得られた知見をガイドライン(案)に反映させるため、検証委員会から助言を求めたい。

# 1 取組の状況報告

## 1-2 これまでの経緯

## ■これまでの経緯

第2回検証委員会（令和6年1月10日開催）

新潟県コンクリート品質確保ガイドライン（案）（令和6年3月26日改正）

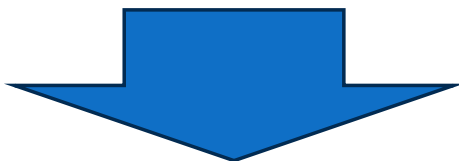
- ・ 施工の基本事項の遵守（丁寧な施工）の妥当性の検証
  - ① ガイドライン（案）に基づく各種運用の検証  
⇒ 「表層目視評価」の運用改正（任意から必須へ）
  - ② 施工状況把握チェックシートの改善  
⇒ 「施工状況把握チェックシート」の改正  
寒中コンクリート用、暑中コンクリート用の新設

# ■これまでの検証のロードマップ

| 検証委員会における検証事項             | R3年度 | R4年度 | R5年度     | R6年度 | R7年度                   | R8年度以降 |  |
|---------------------------|------|------|----------|------|------------------------|--------|--|
| (1) 施工の基本事項の遵守(丁寧な施工)の妥当性 |      |      |          |      |                        |        |  |
| ①「施工状況把握チェックシート」に基づく運用の検証 | →    |      | 中間<br>総括 |      | 第3回 検証委員会<br>開催予定      |        |  |
| ②チェックシートの改善               | →    |      |          |      |                        |        |  |
| (2) ひび割れ抑制対策の妥当性          |      |      |          |      | 今後の<br>方針を<br>判断<br>総括 |        |  |
| ①高密度鉄筋での施工上の課題検証          | →    |      |          |      |                        |        |  |
| ②ガイドライン(案)の各種数値基準の検証      |      |      |          |      |                        |        |  |
| ②-1ガイドラインに基づく数値基準での施工     | →    |      |          |      |                        | →      |  |
| ②-2新潟県の特徴を考慮した数値基準に変更して施工 |      |      |          |      |                        | →      |  |
| ②-3鉄筋比変更(各数値基準)での施工結果の検証  |      |      |          |      | →                      |        |  |
| (3) その他                   |      |      |          |      |                        |        |  |
| ①取組の有効性評価<br>(試行工事の出来映え等) | →    |      |          |      |                        | →      |  |

## 第3回検証委員会

令和7年度発注のひび割れ抑制対策指定工事の  
完了後に開催を予定としていた



試行工事の件数が少なかったことから

**現在の状況**と**今後の方針**について報告する